

株式会社 Sanko IB、 食と IT を融合したスマート食システムプロジェクトで健康経営を実現

ごはんの炊き具合を見える化・一元管理する「スマート弁当箱炊飯器」をリリース

通信、IT、ビルディング・オートメーション技術のリーディングカンパニーである株式会社 Sanko IB（本社：東京都港区、代表取締役社長 北川 省吾）は、昨今の企業活動において高まっている健康経営の一環として、食と IT を融合したスマート食プロジェクトを立ち上げました。プロジェクトの第一弾として、ごはんの炊き具合を見える化・一元管理する「スマート弁当箱炊飯器 - 米スター（マイスター）」をリリースします。



「スマート弁当箱炊飯器- 米スター」は、ユニークな商品を開発する家電メーカー、サンコー株式会社の「ひとりさま用超高速弁当箱炊飯器」に Sanko IB の BAS（ビルディング・オートメーション・システム）を組み込んだスマートなエンタプライズ向け弁当箱炊飯器です。

ウェアラブル端末からの「BMI」「体脂肪率」「その日の体調データ」と事前に登録されている「食の嗜好性データ」を BAS（ビルディング・オートメーション・システム）である【Niagara Framework®】が収集し、監視・制御。そのデータを BOS（ビルディング・オペレーティング・システム）を介して AI（人工知能）や ML（機械学習）によって自動分析し、その日の体調に合わせた最も適切な量のごはんを自身の好みに応じてふっくらと炊き上げるしくみです。

また、各種データをクラウドで一括管理することで、パソコンやモバイル端末等のブラウザから炊飯状況や従業員の健康データなどをいつでも、どこでも、どこからでも監視・制御することが可能です。

管理画面では、「管理者」「一般ユーザ」といったセグメント毎に表示項目を分けることができるため、従業員の日々の健康データを確認し、体調に合わせた仕事の割り振りや体調管理の声がけなど、健康経営の第一歩として活用することができます。

「スマート弁当箱炊飯器」の詳細は Web ページをご覧ください。

<https://sanko-ib.co.jp/mail/vol109/april-fool-2023/>

■ Niagara Framework®について

【Niagara Framework®】は、LonWorks、BACnet、Modbus、oBIX、KNX などの標準ネットワークプロトコルに対応した BAS（ビルディング・オートメーション・システム）です。多様な機器やシステムとの統合が可能であり、統合的な管理、制御、中央監視をおこない、ビル内の全てのエンドポイントをシームレスに統合します。Niagara Framework®は、ほぼすべての組み込み機器またはシステムに接続できるオープンな Java および HTML5 ベースのフレームワークには、ドラッグ&ドロップで構築できるグラフィカルツールが含まれているため、直感的にアセットを管理することが可能です。

THANKO

■ サンコー株式会社について

サンコー株式会社は、「面白くて役に立つ商品を社会に提供する」を企業理念とした、他にはないユニークな商品を開発するアイデア家電メーカーです。また、商品力×提案力で顧客の多種多様なニーズに対応した低コストでの資材導入、工業用内視鏡、電動台車、建機重機用製品、ドライブレコーダーなどを法人向けに展開しています。

■ 株式会社 Sanko IB について

1986 年設立。通信、IT、ビルディング・オートメーション技術のリーディングカンパニーで、人々が暮らす、働く、眠る、遊ぶ空間をより快適に設計する『Application Friendly Building Operation（アプリケーション・フレンドリー）：あらゆる領域のお客様ビジネスのスマート化』をミッションに、スマートビル、スマートホテル、スマートデータセンター、スマートオフィス、スマートネットワーク、スマートエネルギーの 6 つのソリューションを提供しています。詳細は <https://sanko-ib.co.jp/> をご覧ください。

■ 製品に関するお問合せ先

株式会社 Sanko IB CBS 営業部 営業担当

■ 報道からのお問合せ先

株式会社 Sanko IB マーケティング部

<https://sanko-ib.co.jp/contact/>



※本リリースは、エイプリルフールのためのネタであり、実際のものではありません。